

# 京都品質工学研究会のご紹介

— 市場品質を事前に確保するために —

## 品質工学とは

**品質工学**とは、将来起こるかもしれないトラブルを未然に防いで、製品が引き起こす様々な損失を最小化することを目的とする、汎用性の高い技術的方法論です。「技術者にとっての仕事のやり方・考え方を体系化したもの」とも表現されます。田口玄一博士が提唱した日本発の手法であることから、「**タグチメソッド**」とも呼ばれています。

様々な技術分野や開発プロセスで活用され、安定した設計・製造技術を効率よく開発する考え方と手法として大きな成果をあげています。ユーザーは、自分が購入した製品はどのような環境であっても、いつもちゃんと機能することを期待しています。メーカーは、多大な時間と費用をかけて様々な条件でのテストを行い、製品の動作を確認していますが、多様なユーザーの使用条件全てをテストすることは不可能であり、予期せぬトラブルにつながることも少なくありません。

品質工学では、ユーザーの使用環境や劣化など機能を乱す要因を「ノイズ」として、これらの「ノイズ」の組み合わせに対して頑健な（「ロバスト」な）製品を開発するため、必要な設計パラメータを効率よく見つける考え方・手法を提案しています。

## 京都品質工学研究会

品質工学が普及し始めた平成7年、品質工学に関心を持つ京都府内企業が集まって、**京都品質工学研究会**を創設しました。以降、15年余、継続的な学習と活発な事例研究を重ねており、平成22年12月で通算163回目の定例会開催となります。平成22年度は、13社26名が参加し、毎月、学習・研究を進めています。京都府中小企業技術センターでは、京都品質工学研究会創設当初から事務局を務めながら、京都府内での品質工学の普及・啓蒙を支援しています。平成22年度より、財団法人京都産業21も事務局に加わりました。

品質工学研究会は、毎年5月頃から翌年3月まで、活動しています。品質工学に関心ある企業であれば、どなたでも参加できます（参加費：有料）。京都品質工学研究会は、初心者向けの講習が充実しており、毎年、多数の新規参加をいただいています。

## 第8回関西地区品質工学シンポジウム

関西地区で品質工学の普及・研究活動をしている3研究会（関西品質工学研究会、滋賀県品質工学研究会、京都品質工学研究会）が合同で、関西地区での品質工学の普及・啓蒙を目的としたシンポジウムを毎年開催しています。第8回となる今年は、10月8日に大阪市で開催されました。

特別講演では、「アジアの製造業と品質工学の普及」の演題で、有限会社アイテックインターナショナル 代表取締役社長の井上清和氏に、中国・韓国・台湾を中心としたアジアでの技術開発と品質工学について御講演いただきました。続いて、トヨタ自動車株式会社の小杉敬彦氏に、トヨタ自動車での品質工学の取り組みを紹介いただきました。

その後、関西3研究会からの研究事例発表を行いました。京都品質工学研究会からは、サンスター株式会社の米谷会員が、ヘアスプレー樹脂のつまり改善を品質工学で行った事例を紹介しました。品質工学を利用して、樹脂つまりの少ないスプレーの開発に成功し、かつ評価・試験に要する時間を大幅短縮した事例の発表に対し、シンポジウムらしい活発な議論が交わされました。



## 品質工学講演会(公開)のご案内

### 平成22年度中小企業ものづくり技術スキルアップ研修

品質工学が目指す「技術開発」とは何か、従来の手法との違いは何かなど、品質工学を導入・活用していく上での「みちしるべ」となるべく考え方を紹介いたします。

1. 日時 平成23年1月13日(木)13時15分から17時
2. 場所 京都府産業支援センター 5階研修室
3. 講師 品質工学会 元副会長 原 和彦 氏  
マツダ株式会社 常務執行役員 龍田 康登 氏
4. 参加料 無料
5. 定員 60名

この講演会は緊急雇用安定助成金制度等の対象となる教育訓練としても活用できます。

#### <注意事項>

- ◆国の助成金を受ける場合、ハローワークに休業届等の事前手続きが必要です。この研修に申し込むだけでは助成金を受けられません。
- ◆主催者との職業訓練委託契約書等の書類がハローワークへの事前申請の際に必要となります。あらかじめ、主催者と職業訓練委託契約の締結をお願いします。

まずは、最寄りのハローワークへお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター  
基盤技術課 機械設計・加工担当

TEL:075-315-8633 FAX:075-315-9497

E-mail:kiban@mtc.pref.kyoto.lg.jp